



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R2年8月
No. 38

残暑お見舞い 申し上げます!!

盆がすぎ、子供たちの短い夏休みも終わりました。

例年にない自粛ムードのお盆でした。ご先祖様は神様、仏様の身、「コロナの心配もなく、自粛もしないでお出でになりましたが、子供たちや孫たちは帰省を自粛し、例年になく寂しい盆になったかと思えます。

最近よく「美しすぎる○○」という言葉が聞かれます。美しすぎるおばあちゃんとか、美しすぎる弁護士等です。「すぎる」の乱用だと思えますが大した実害は有りません。

七月の長雨、八月の猛暑。暑すぎ、降りすぎで、これには困りました。ウィルスが蔓延しすぎたり、恐れすぎたり、自粛しすぎたり、いろんなことが「すぎて」困った夏です。

「すぎたるは及ばざること」とはよく言ったものです。丁度いいのがベストなのですが、世の中そうはうまくはいきませんね。



今年も じゃが芋たくさん採れたよ!!



7月25日、小雨降る中5人の可愛い1年生が芋掘りに参加してくれました。マスク姿に軍手と、姿も勇ましく会員達と芋掘りに挑戦。長雨の割にはよくできた芋を掘り出しては大喜び！袋いっぱいのお土産。とても楽しい会でした。

ボケたに

「ボケた」ではなく「のどかになった」という言い方があるそうです。悲壮感がなく、高齢になった人の、おっとりとした感じがするではありませんか。
「父も90になり、だいぶのどかになってきました。」

こんな使い方をしたいものです。
「民友新聞」ラム」より

「ミ」出しの約束は？

「ミ」出しの決まりを、忘れてしまったか、まるで気にしないという方が時々おられます。どこの班でも「ミ」当番の方々が苦労しているようです。指定回収日でもない曜日に缶が出ていたり、粗大ごみがあったり、生ごみが出ていけば、当番はそれを自宅に持ち帰ります。重い事務用椅子を引きずってきたり、空き缶を持ち帰ったり・・・ましてや、この時節ですので他家の生ごみは絶対に嫌だと思えます。

町内会の広報誌みたいになってしまいました。もう一度「ミ」のロカレンダーを確認して出すようにしたいものです。

